



「知的照明」で電力5割削減 同志社大、森ビル・三菱電機と実験

415 語

2010年2月26日

フジサンケイビジネスアイ

NIHKOG

013

日本語

(C) 2010 日本工業新聞社

同志社大学は25日、照明の明るさや色を人工知能で個人の好みに自動制御する「知的照明システム」の実証実験を、三菱電機と森ビルの本社オフィスの一部で開始した、と発表した。部屋全体を均一的な明るさに保つのではなく、同じ部屋でも場所ごとに明るさや光の色を自動調整し、生産性の向上や省エネルギーにつなげる。来年3月まで実験を行い、技術改良を加えた上で3年後の販売を目指す。

パソコンと照度計によって一つ一つの照明を制御する。昼間の外光を検知して自動的に光の量を抑えたり、席を外した際にはその人の周辺の照明を切断できるため、一般的なオフィスに比べて電力消費量を抑えられる。

実験には三菱電機の社員42人と森ビルの社員25人が、それぞれ都内のオフィスで参加。実験データを踏まえ、普及に向けた研究開発をさらに進める。知的照明システムを開発した同大理工学部の三木光範教授は「実際のオフィスでも照明の電力を5割程度削減できる」と、実用化に意欲を示している。

文書 NIHKOG0020100225e62q0001w

© 2010 Factiva, Inc. All rights reserved.